

「神の驚くべき恵み」ヨハネ3：1～16 12・3・4 I 父なる神の大きな愛
「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びる（永遠のさばきを受ける）ことなく、永遠のいのち（永遠に生かされ、神に愛され素晴らしい神を知り続け、交わることができるいのち）を持つためである」：16。 II 御子なる神、キリストの大きな恵み。「モーセが荒野で蛇を上げたように、人の子もまた上げられなければなりません。それは、信じる者がみな、人の子にあって永遠のいのちを持つためです」：14, 15。キリストは、私たちを心から愛し私たちのすべての罪（不品行、汚れ、好色、偶像礼拝、憎しみ、ねたみ、恨み、分裂、分派、党派心、酒に酔い乱れたことをする事等）を負い、私たちの身代わりに十

越えた神の御支配と深いご計画がある事を覚えたい。「神のなさることは、すべて時に
かなって美しい」伝 3：11。「すべてのことが、神から発し、神によって成り（生成、
発展させられ）、神に至る（神に帰って行く）からです」ローマ 11：36

V 洗礼を受けた後も主の姿に成長し続けるために必要な事。

1. 一日の仕事や勤めが始まる前の毎朝の神との交わり、ディボーションの継続。人間の
完璧主義ではなく、とにかく続ける事が霊的な糧となる。自分に合う時間、ペース
で。あきらめないで。「イエスは、朝早くまだ暗いうちに起きて、寂しい所へ出て行き、
そこで祈っておられた」マルコ 1：35。 2. 「安息日を覚えて、これを聖なる日と
せよ」出 20：8。「真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。
今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。神は霊
ですから、神を礼拝する者は、霊（聖霊によりきよめられた心で真心から）とまこと（ま
ことであるキリストの十字架の贖いの恵み）によって礼拝しなければなりません」ヨハ
ネ 4：23, 24。私たち人間は、神を礼拝する者として神に造られ、神を礼拝する者
として救われた。それゆえに、私たちが、まことの神を礼拝することを、神は心から喜
ばれる。礼拝とは、神の驚く恵みに感謝して、自分自身を神にささげること。ローマ
12：1。そのことを献金を通して表す。また、礼拝全体（神の臨在、神の生ける御言葉
の恵み、教会員が祈り支える礼拝メッセージ）を通して、私たちは、毎週、計り知れな
い霊的な恵みを受けている。この継続により私たちは、主の姿に成長し続けられる。
3. 互いに、励まし合い祈り合い支え合う。「すべての祈りと願いを用いて、どんなと
きにも御霊によって祈りなさい。そのためには絶えず目をさまして、すべての聖徒
のために、忍耐の限りを尽くし、また祈りなさい。また、私が口を開くとき、語るべき
ことばが与えられ、福音の奥義を大胆に知らせることができるよう私（牧師、宣教師）
のためにも祈ってください」エペソ 6：18, 19。「主イエスを信じなさい。そうす
れば、あなたもあなたの家族も救われます」使 16：31。この御言葉を信じ、家族に
愛を示し、主を伝え、家族の救いの為に祈りましょう。 4. 洗礼はゴールではなく、
スタート。地上では、完全なクリスチャンはいない。日々、自分の罪の告白、悔い改め
が必要。私たちは、一步一步（岩手の支援の場所の名称「いっぽいっぽ」）、主の姿にき
よめられて行く。地上の生涯を終えるまで。又は主が再臨されるまで。「もし、私たち
が、自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての
悪から私たちをきよめてくださいます」Ⅰヨハネ 1：9。「私たちはみな…主の栄光を
反映させながら、栄光から栄光へと主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これは
まさに、御霊なる主の働きによるのです」Ⅱコリント 3：18